土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　丹屋奥谷西川通常砂防事業に伴う業務委託

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor-No.4	**調査位置**	広島県福山市水呑町					**北緯**	34° 26′ 21.8701″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2021年 11月 8日 ～ 2021年 11月 9日			**東経**	133° 22′ 12.5792″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 120.51m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 10°	**使用機種**	
総削孔長	4.00m							**試錐機**	東邦D1-B
								エンジン	ヤンマーNFD12
								ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定年月日
	120.21	0.30		礫混り玉石		青黒			新生代第四紀	玉石流堆積物。硬質な柱状コアで、岩種は流紋岩である。GL-0～0.1mはφ1～3cmの角礫である。	
	119.61	0.90		礫混り砂		灰褐	rd3			玉石流堆積物。基質は粗粒砂で、φ2.0～5.0cmの角礫を含む。コアは締まっており、強い指圧で崩れる。GL-0.6～0.8mは植物片を含む粘性土。	
1				弱風化流紋岩		青黒			中生代白亜紀	弱風化の流紋岩。硬質な柱状コアで、ハンマーによる強打で割れない。GL-1.70、3.05、3.75、3.90m付近で割れ目に沿って粘土を挟む。全体に白色脈が散在し、GL-1.0～1.6mで低～中角に、GL-2.0～2.2mに高角に挟む。【CM級】	
2											
3											
4	116.51	4.00									
5											

標準貫入試験

深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	N値
1.00	貫入	不能		50/0			
2.00	貫入	不能		50/0			
3.00	貫入	不能		50/0			
4.00	貫入	不能		50/0			

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/8
					11/9